

第2回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会

とき 平成20年7月31日（木）午前10時より

場所 御嵩町役場北庁舎 3階大会議室

1 開会

2 あいさつ

名鉄広見線対策協議会 会長 御嵩町長 渡辺公夫

名鉄広見線対策協議会 顧問 岐阜県議会議員 小原 尚

3 名古屋鉄道(株)からの名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の路線状況説明について

(1)説明

(2)質疑応答

4 議事

(1)平成20年度事業計画変更（案）について

(2)平成20年度補正予算（案）について

5 報告、意見交換等

(1)報告・意見交換

・名鉄広見線に関する高校生アンケート調査（中間報告）について

・名鉄広見線に対する各団体の意見・取り組みについて

(2) その他

6 閉会のあいさつ

名鉄広見線対策協議会 副会長 可児市長 山田 豊

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会 名簿

<顧問>

岐阜県議会議員 小原 尚 岐阜県議会議員 村上孝志 岐阜県議会議員 渡辺猛之

<委員>

	御嵩町	可児市	八百津町
首長	御嵩町長 渡辺公夫	可児市長 山田 豊	八百津町長 赤塚新吾
議会	御嵩町議会議員 梅原 勇	可児市議会議員 肥田正志	八百津町議会議員 滝上和美
	御嵩町議会名鉄路線対策 特別委員会委員長 安藤博通	可児市議会名鉄広見線対 策特別委員会委員長 可児教和	
教育関係者	御嵩町教育長 丹羽一仁	可児市教育長 井戸英彦	八百津町教育長 後藤 收
	可茂地区高等学校PTA連合会 田原理香		
	可茂地区高等学校校長会会長（岐阜県立可児高等学校校長） 石井昭司		
	岐阜県立東濃高等学校校長 中島 潤		
	岐阜県立東濃実業高等学校校長 足立司郎		
	岐阜県立八百津高等学校校長 坂井俊郎		
経済関係者	御嵩町商工会 谷口鈴男	可児商工会議所 桑下和弘	八百津町商工会 佐合重光
	御嵩町観光協会 伊崎公介	可児市観光協会 林 則夫	
住民代表者	御嵩町自治会長連絡 協議会 福嶋壽雄	可児市自治連絡協議会 伊佐治昭男	

<関係者（指導・助言）>

国土交通省中部運輸局鉄道部長 渡邊正文 岐阜県都市建築部公共交通課長 岡田芳和

<事務局>

御嵩町総合政策課 課長 鍵谷昌孝 係長 小木曾昌文
 可児市総合政策課 課長 古山隆行 係長 瀬瀬新吾
 八百津町地域産業課 課長 脇山泰男 課長補佐 岩井 満

第2回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）対策協議会
議事等綴り

平成20年7月31日

■名鉄広見線対策協議会 名鉄への説明要望・意見

乗降者数、運賃収入について

- ・ 赤字の許容範囲はどのくらいか
- ・ 存続可能な乗降者数
- ・ 切符の種別ごとの運賃収入
- ・ 乗降者数の今後の見込み
- ・ 駅ごとの乗降者数と運賃収入

運行経費について

- ・ 一編成の連結車両を少なくした場合、運行経費の削減にどのくらいつながるか
- ・ 八百津線とこの路線との人件費にあまりにも差異があるのはなぜか
- ・ 今回の合理化策の収支改善はどの程度か
- ・ 営業係数について、他路線との比較はどうか
- ・ 区間収支の積算方法を教えてほしい

鉄道事業について

- ・ 住民がどう行動すれば廃線が防げるのか
- ・ はじめから廃線が決まっていないか
- ・ 八百津線の現在の状況はどうなっているか
- ・ 存続の絶対条件はなにか
- ・ 広見線の犬山駅～新可児駅間の状況はどうか
- ・ 広見線を一括として考えないのはなぜか
- ・ この区間を廃線とした場合、広見線への影響はどうか
- ・ 支線を廃線した路線での本線での乗降客数の推移はどうなったか
- ・ 支線を廃線することについての考え方
- ・ 廃線した路線の沿線自治体、住民への対応として何かおこなったか把握していたら教えてほしい

■名鉄広見線対策協議会 平成 20 年度事業計画変更（案）及び補正予算（案）

平成 20 年度事業計画（案）

項目	実施日	内容
第 1 回対策協議会	5 月 2 日	規約、事業計画、予算等の承認について 広見線の現状について など
第 2 回対策協議会	7 月 31 日	名鉄からの状況説明等について
<u>名鉄広見線活性化 基本計画策定事業</u>	<u>3 月末まで</u>	<u>広見線活性化基本計画策定業務</u>
第 3 回対策協議会	11 月ごろ	広見線の活性化に向けた基本的な考え方等について
第 4 回対策協議会	未 定	広見線の活性化の計画等について

平成 20 年度補正予算（案）

（単位：円）

歳入科目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	内訳
1 負担金	300,000	7,000,000	7,300,000	御嵩町 3,600,000 可児市 3,600,000 八百津町 100,000
2 その他雑収入	1,000	0	1,000	預金利息等
合計	301,000	7,000,000	7,301,000	

（単位：円）

歳出科目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	内訳
1 報酬費	260,000	0	260,000	委員等報酬
2 会議費	20,000	0	20,000	会議賄等
3 事務費	21,000	0	21,000	通信費等
4 調査委託費	0	6,500,000	6,500,000	活性化基本計画策定
5 啓発費	0	400,000	400,000	チラシ作成等
6 研究費	0	100,000	100,000	講師派遣費・視察費等
合計	301,000	7,000,000	7,301,000	

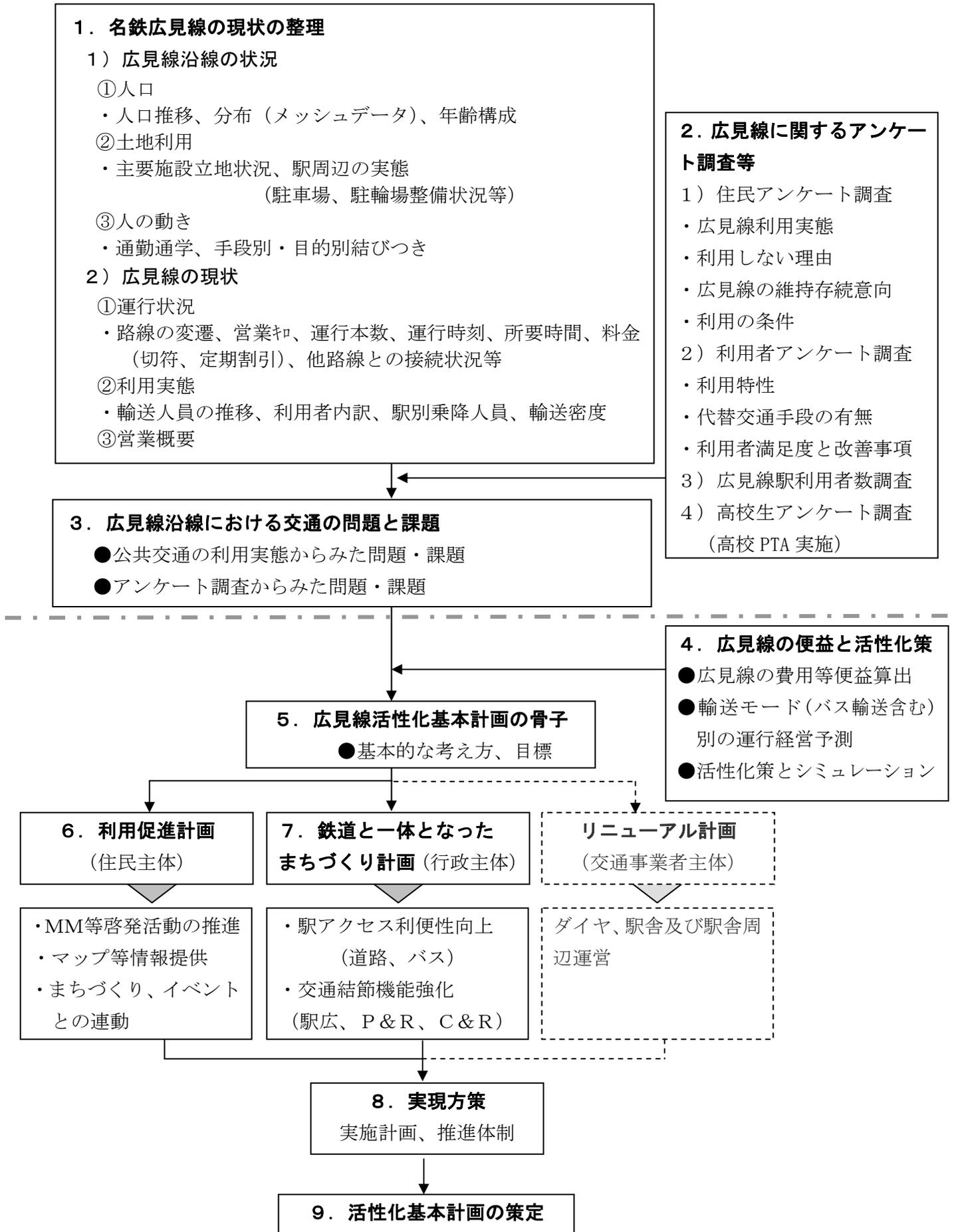
■名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）に関する動き（前回協議会 5月2日以降）

- ◆平成 20 年 5 月 24 日 御嵩町主催 鉄道シンポジウム開催（約 250 名参加）
- ◆平成 20 年 6 月 29 日
名鉄ダイヤ改正実施
名鉄広見線 新可児駅⇄御嵩駅間折り返し運転開始（午前 10 時以降はワンマン運行）
御嵩駅・明智駅 駅員無配置化実施
- ◆平成 20 年 6 月 30 日より
可茂地区高等学校 P T A 連合会 高校生アンケート調査票配布（7 月 4 日回収）
- ◆平成 20 年 7 月 10 日・13 日
名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）利用者アンケート調査票配布（7 月 28 日投函締切り）
- ◆平成 20 年 7 月 10 日
名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）駅利用者数調査実施
- ◆平成 20 年 7 月 11 日
名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）沿線住民アンケート調査票郵送
(7 月 28 日投函締切り)

<アンケート実施状況>

アンケート調査対象	配布件数	回収件数	
可茂地区高等学校アンケート	—	1,204	
沿線住民アンケート	2,420		御嵩町 1,500 件 可児市 920 件
駅利用者アンケート	1,107		

■ 広見線活性化基本計画策定フロー



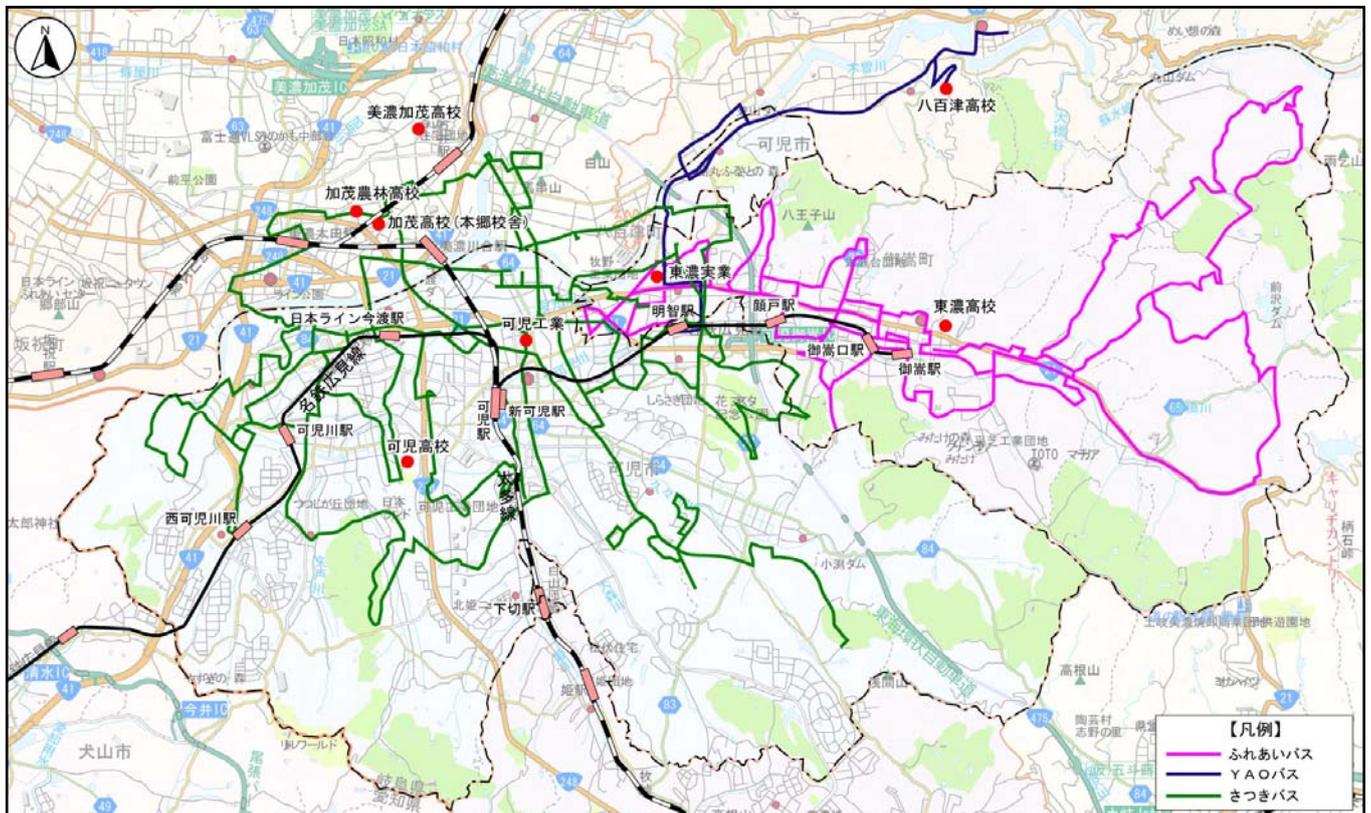
■「名鉄広見線に関する高校生アンケート調査」の概要

- ・調査主体：可茂地区高等学校 PTA 連合会
- ・調査時期：平成 20 年 7 月
- ・調査対象：東濃、八百津、東濃実業、加茂（本郷校舎・白川校舎）、加茂農林、可児、可児工業、美濃加茂の計 9 高等学校在学者のうち、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）で通学可能な生徒
- ・回収状況：8 高等学校合計 1,204 票（学校別の回収数は下表参照）
*加茂高校（白川校舎）は該当者なし

■各学校別の回収結果

	回収数
①東濃	220
②八百津	191
③東濃実業	463
④加茂(本郷校舎)	105
⑤加茂農林	16
⑥可児	87
⑦可児工業	70
⑧美濃加茂	52
合計	1,204

■名鉄広見線と各学校の位置図



■アンケート調査項目の概要

問1～問3 属性（性別、学年、住まい）

問4 住まいから一番近い鉄道駅

問5 その鉄道駅までの交通手段

問6 その鉄道駅までの所要時間

☆通学について

問7 主な通学手段

問8 学校までの所要時間

☆広見線（新可児駅～御嵩駅）を通勤に利用している高校生について

問9 定期券所有の有無

問10 通学利用乗降駅

問11 通学利用頻度

問12 利用満足度

問13 通学利用継続有無

問14 広見線が利用できなくなったときの通学手段

☆広見線（新可児駅～御嵩駅）を通勤に利用していない高校生について

問15 通勤に利用しない理由

問16 その理由の改善後の利用有無

問17 その理由の改善後も利用しない理由

☆広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用促進等について（全員対象）

問18 通勤以外の利用有無

問19 その目的

問20 その頻度

問21 広見線が利用できなくなったときの自身の影響

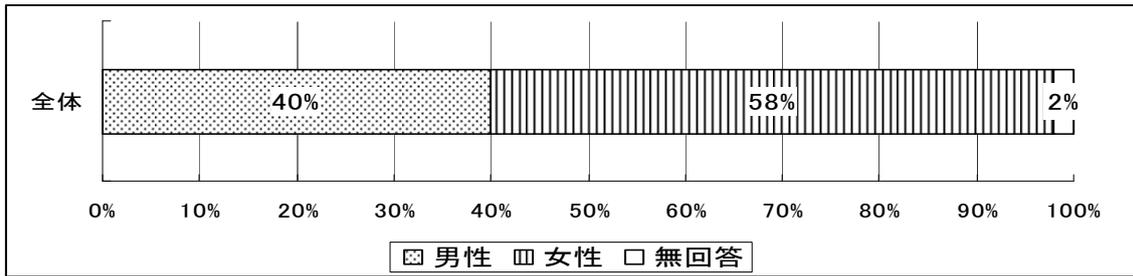
問22 利用促進に向けた重要度

問23 利用促進への参加・協力

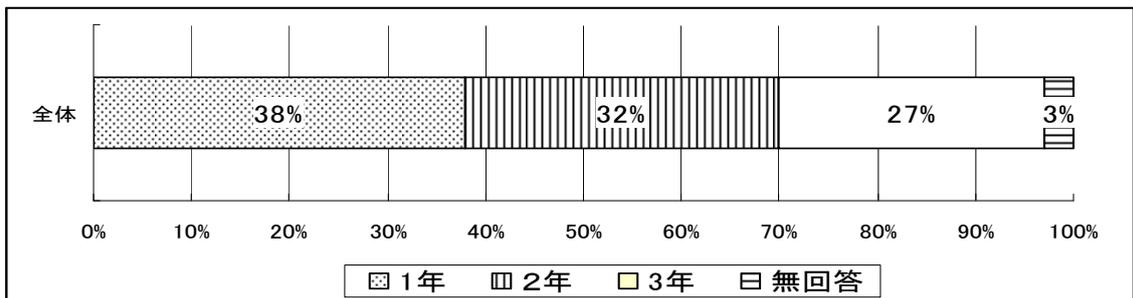
問24 存続に向けての提案・意見

■「名鉄広見線に関する高校生アンケート調査」の中間報告

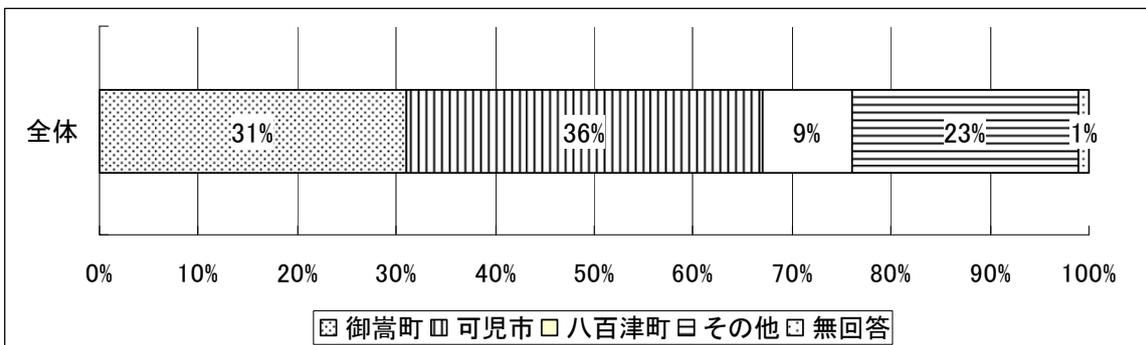
□問1 性別 (n : 1,204)



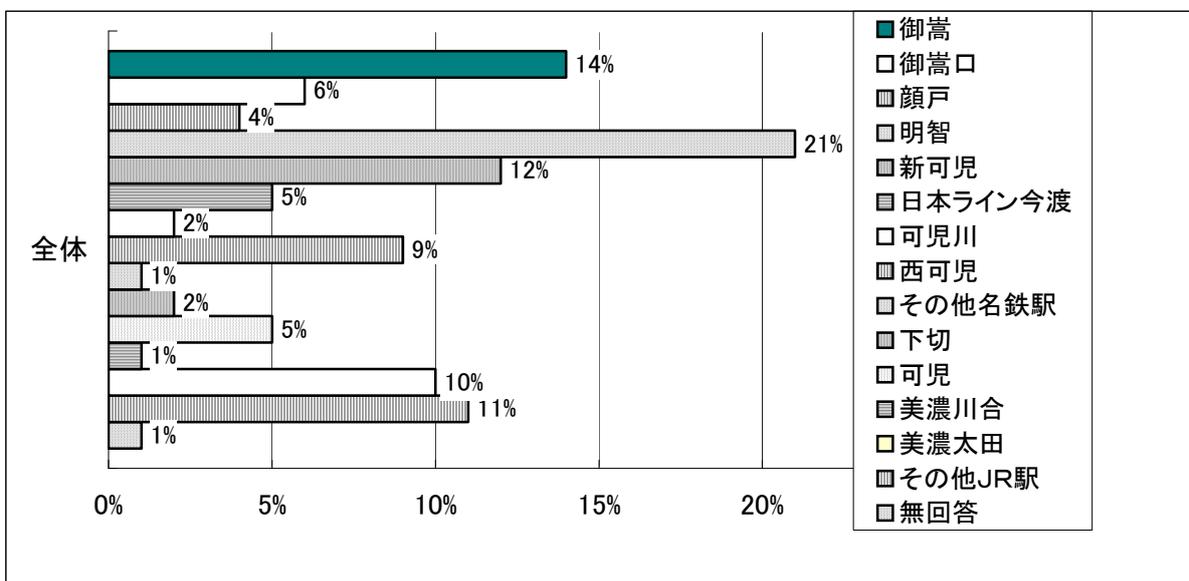
□問2 学年 (n : 1,204)



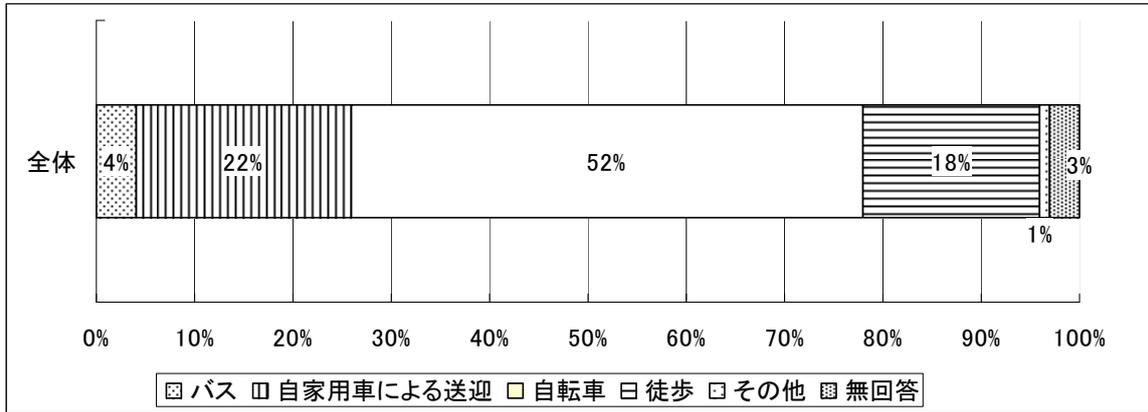
□問3 住まい (n : 1,204)



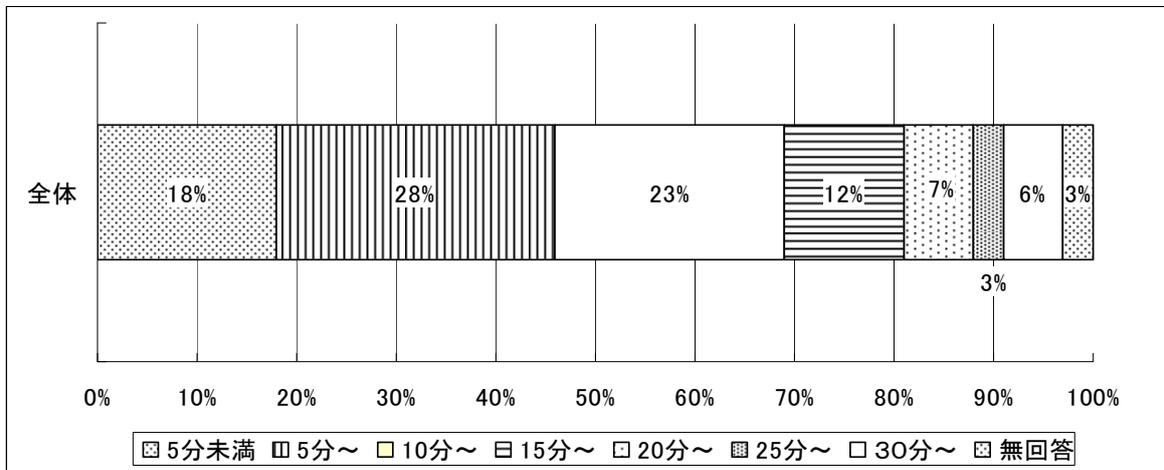
□問4 住まいから一番近い駅 (n : 1,204)



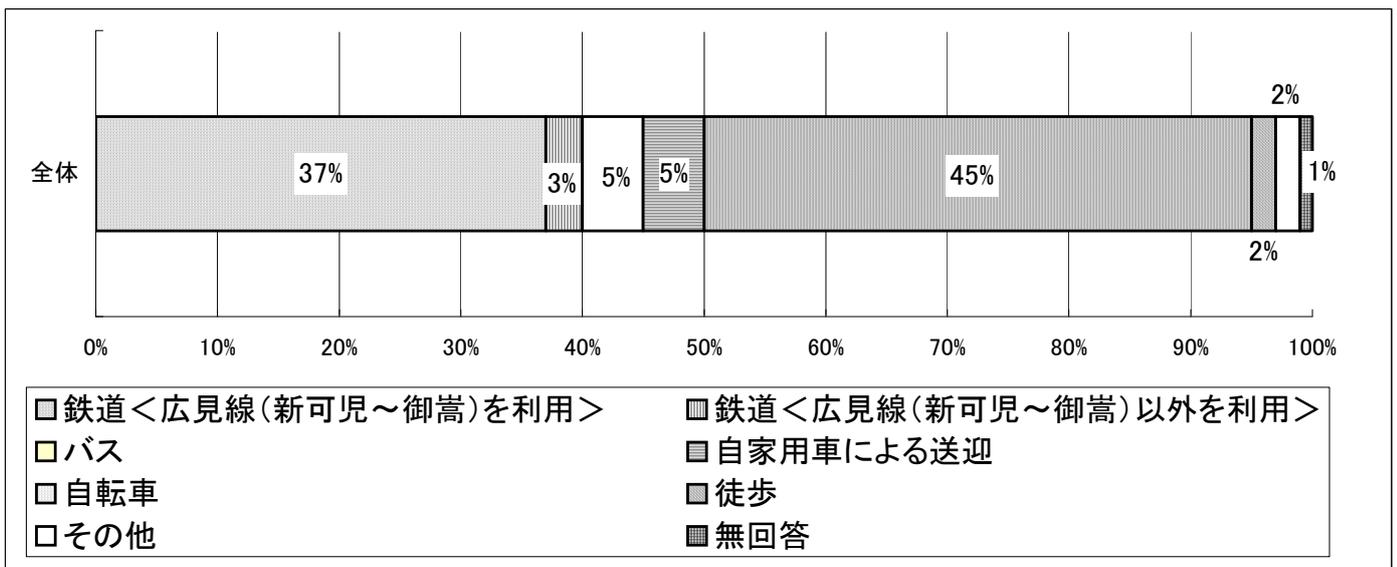
□問5 住まいから一番近い駅までの主な交通手段 (n : 1,204)



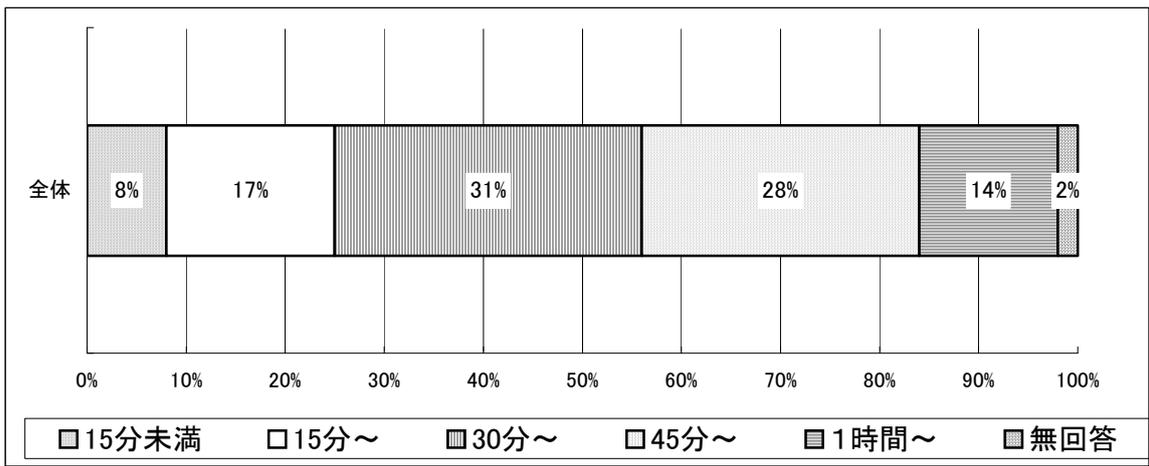
□問6 住まいから一番近い駅までの所要時間 (n : 1,204)



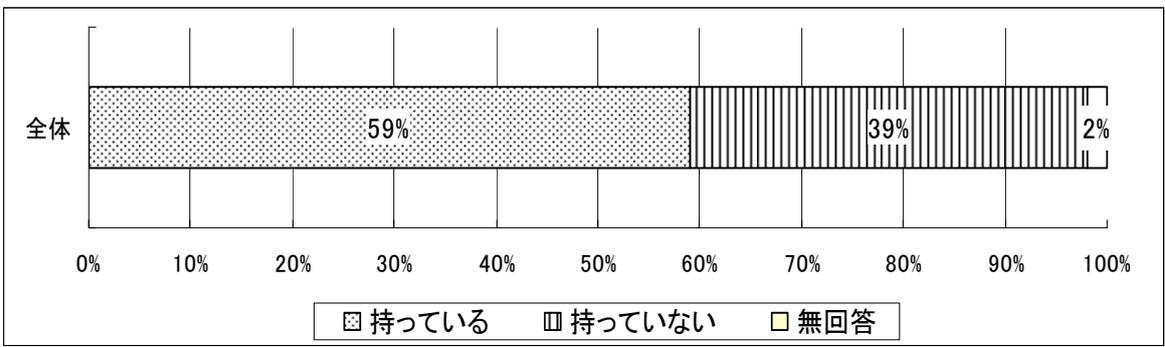
□問7 主な通学手段 (n : 1,204)



□問8 学校までの所要時間 (n : 1,204)



□問9 通学定期の有無 (新可児~御嵩をとときども含め通学利用している高校生のみ n:784)



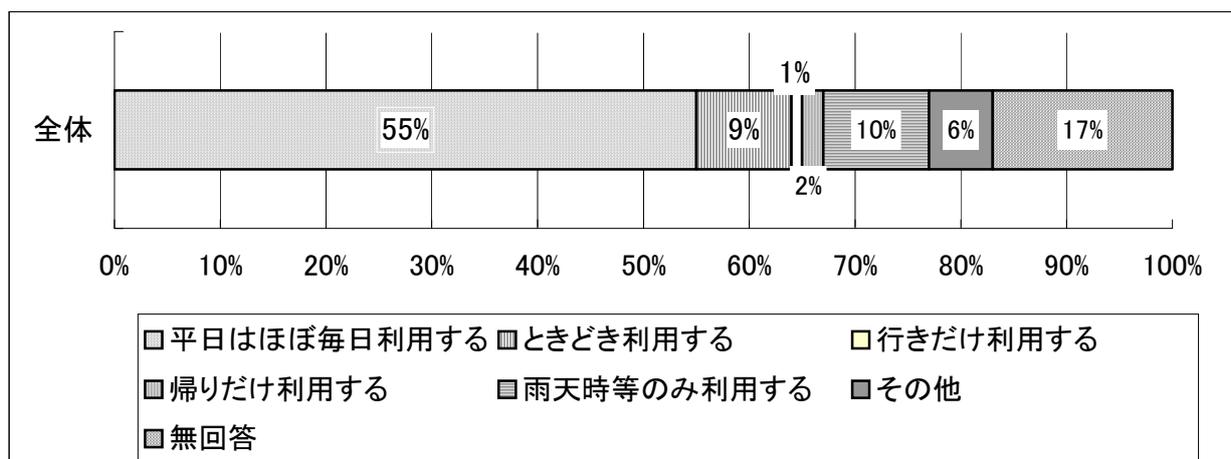
□問10 通学に利用している駅 (新可児~御嵩をとときども含め通学利用している高校生のみ)

	明智	新可児	日本ライン今渡	可児川	西可児	その他名鉄駅	JR下切	JR可児	JR美濃川合	JR美濃太田	その他JR駅	無回答	合計
御嵩	57 7.2%	116 14.8%	27 3.4%		36 4.6%	3 0.4%	1 0.1%	2 0.3%	6 0.8%	10 1.3%	2 0.3%	1 0.1%	261 33.3%
御嵩口	6 0.8%	21 2.6%	3 0.4%					2 0.3%				1 0.1%	33 4.2%
顔戸	7 0.9%	6 0.8%	1 0.1%							1 0.1%			15 1.9%
明智		118 15.1%	16 2.0%	14 1.8%	65 8.3%	2 0.2%	3 0.4%	9 1.1%	3 0.4%	13 1.7%	11 1.4%	2 0.3%	256 32.7%
新可児											2 0.3%		2 0.3%
JR可児									1 0.1%		2 0.3%		3 0.4%
JR美濃太田												1 0.1%	1 0.1%
JR古井											14 1.8%		14 1.8%
JR白川口												1 0.1%	1 0.1%
無回答												198 25.2%	198 25.2%
合計	70 8.9%	261 33.3%	47 6.0%	14 1.8%	101 12.9%	5 0.6%	4 0.5%	13 1.7%	10 1.3%	24 3.1%	31 4.0%	204 25.9%	784 100%

* 上段:回答数(往復計) 下段:全体構成比

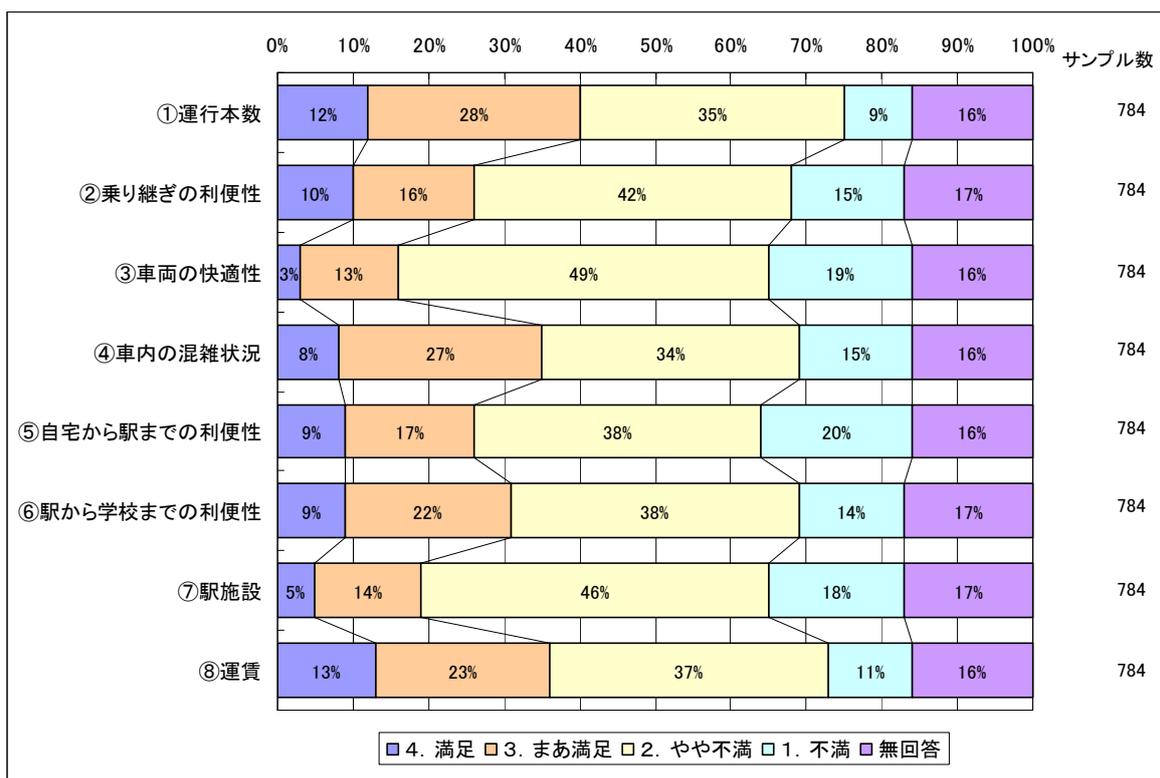
(n : 784)

問 11 通学に利用している頻度 (新可児～御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ)



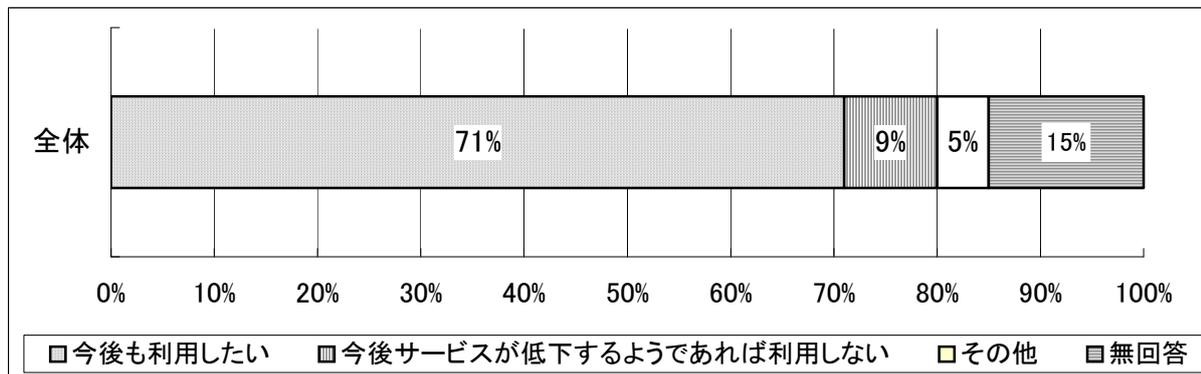
(n : 784)

問 12 広見線の満足度の程度 (新可児～御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ)



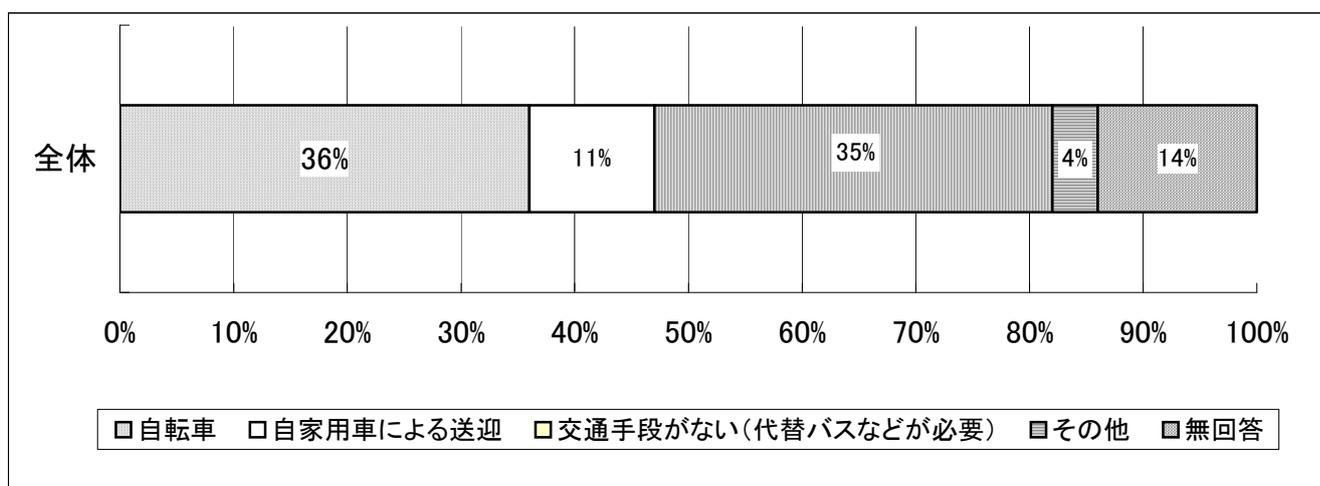
(n : 784)

□問 13 今後も通学利用するか（新可児～御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ）



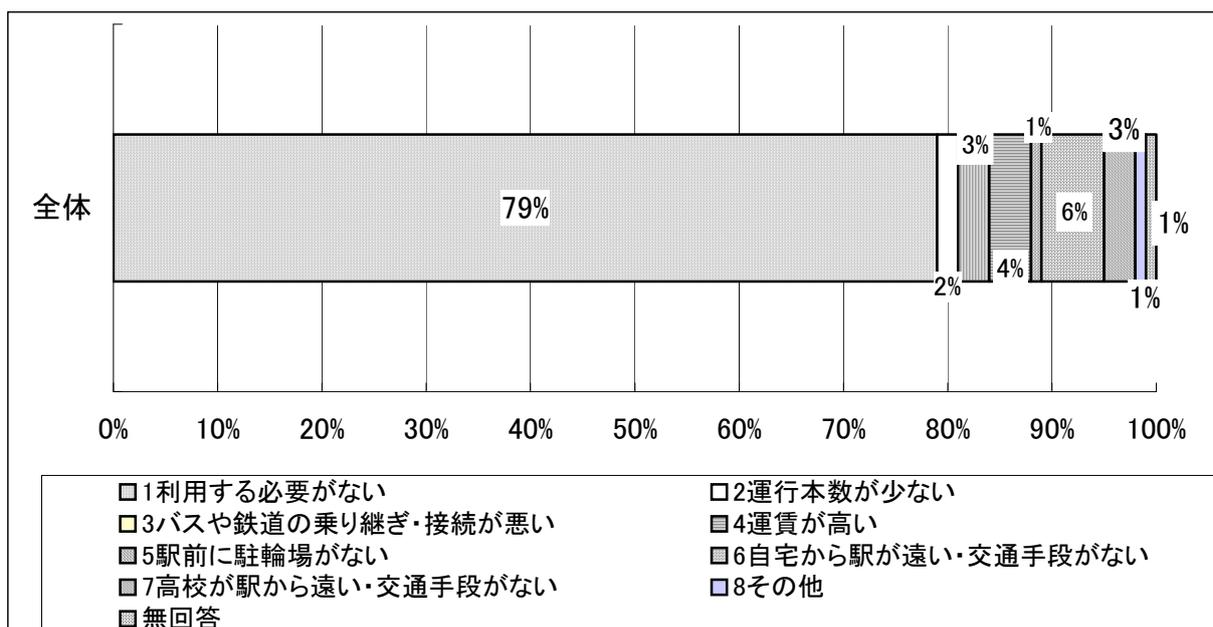
□問 14 広見線が使えなくなった場合の通学交通手段

(n : 784)

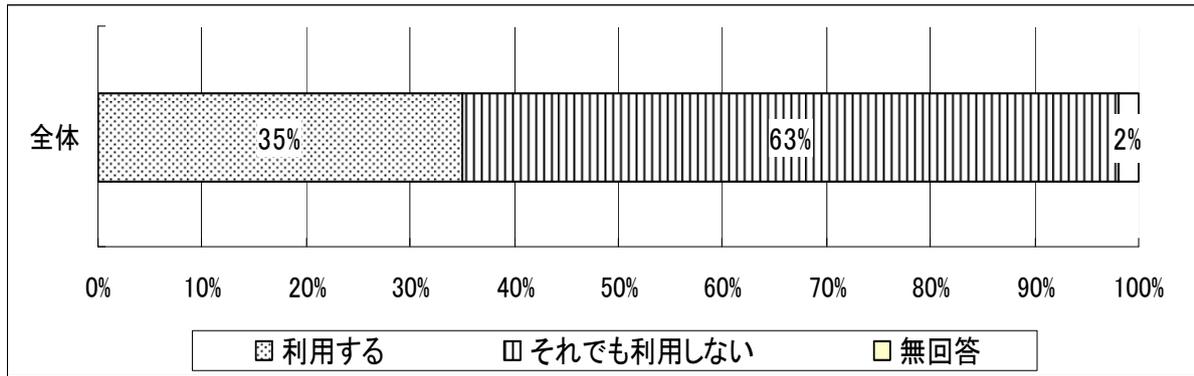


(n : 367)

□問 15 広見線を通学に利用していない理由（新可児～御嵩を通学利用していない高校生のみ）

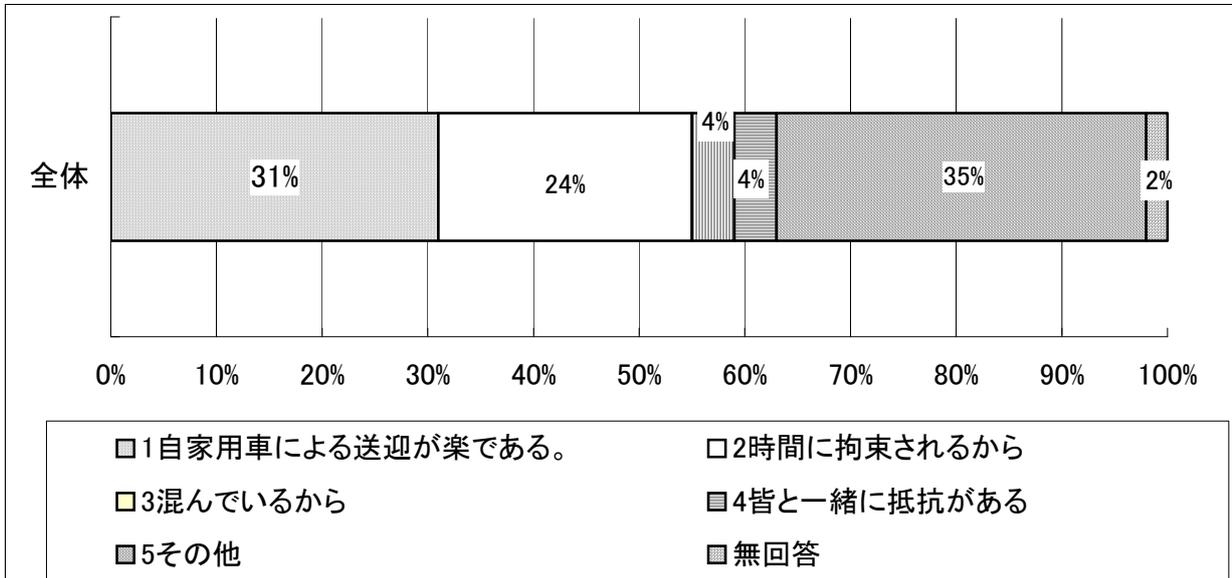


□問 16 問 15 (2~8) に挙げた点が改善されれば広見線を通学利用するか (n : 78)
 (新可児~御嵩を通学利用していない高校生のみ)

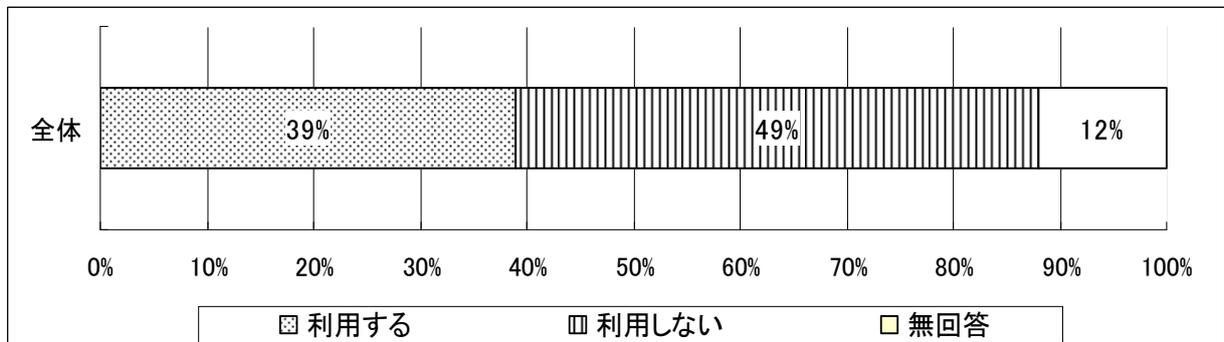


□問 17 問 16 の回答のそれでも利用しない理由 (新可児~御嵩を通学利用していない高校生のみ)

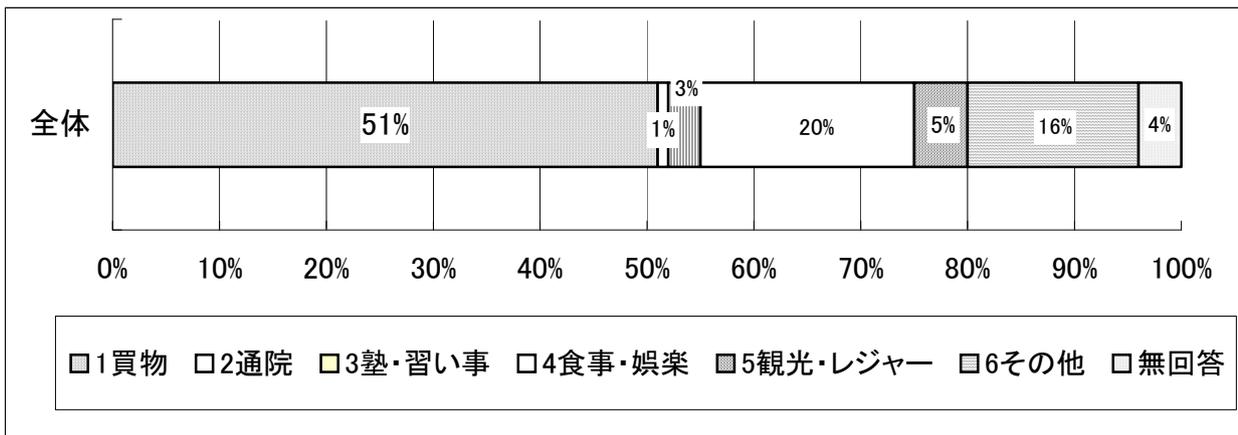
(n : 49)



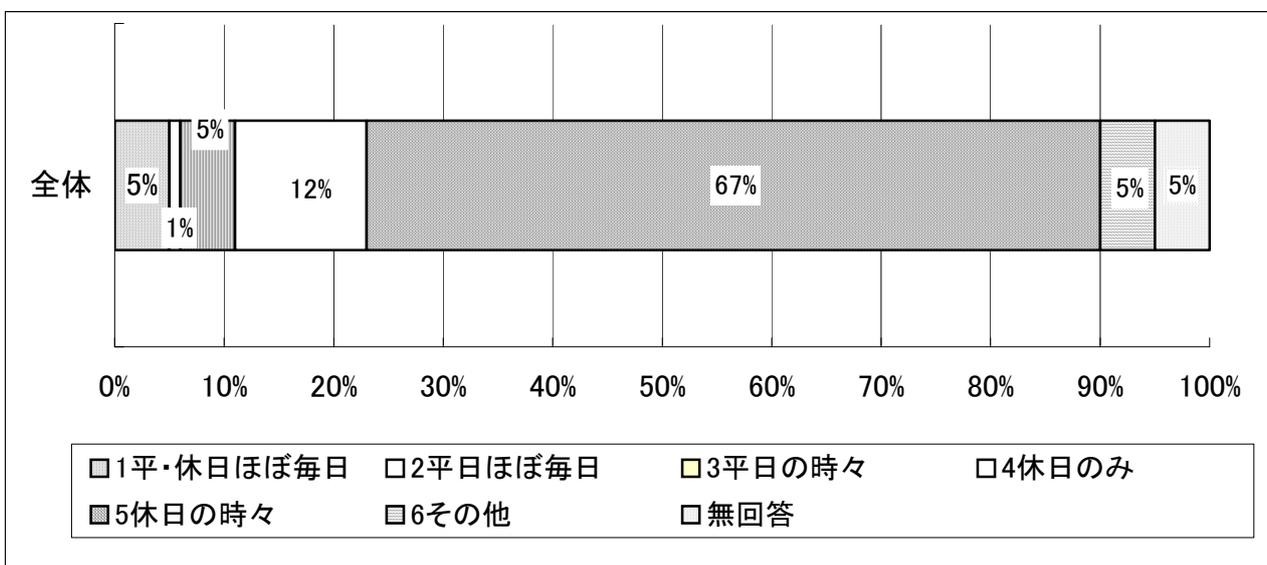
□問 18 通学以外に広見線を利用するか (n : 1,204)



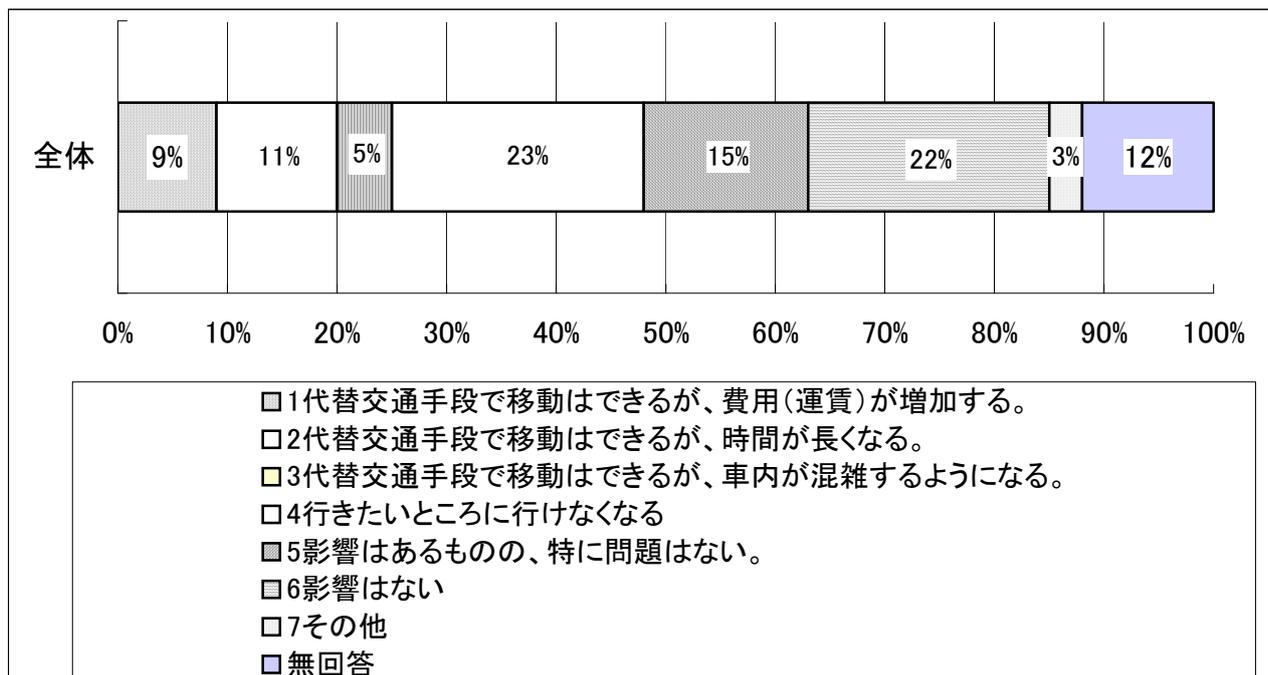
問 19 通学以外に広見線を利用する目的 (n : 474)



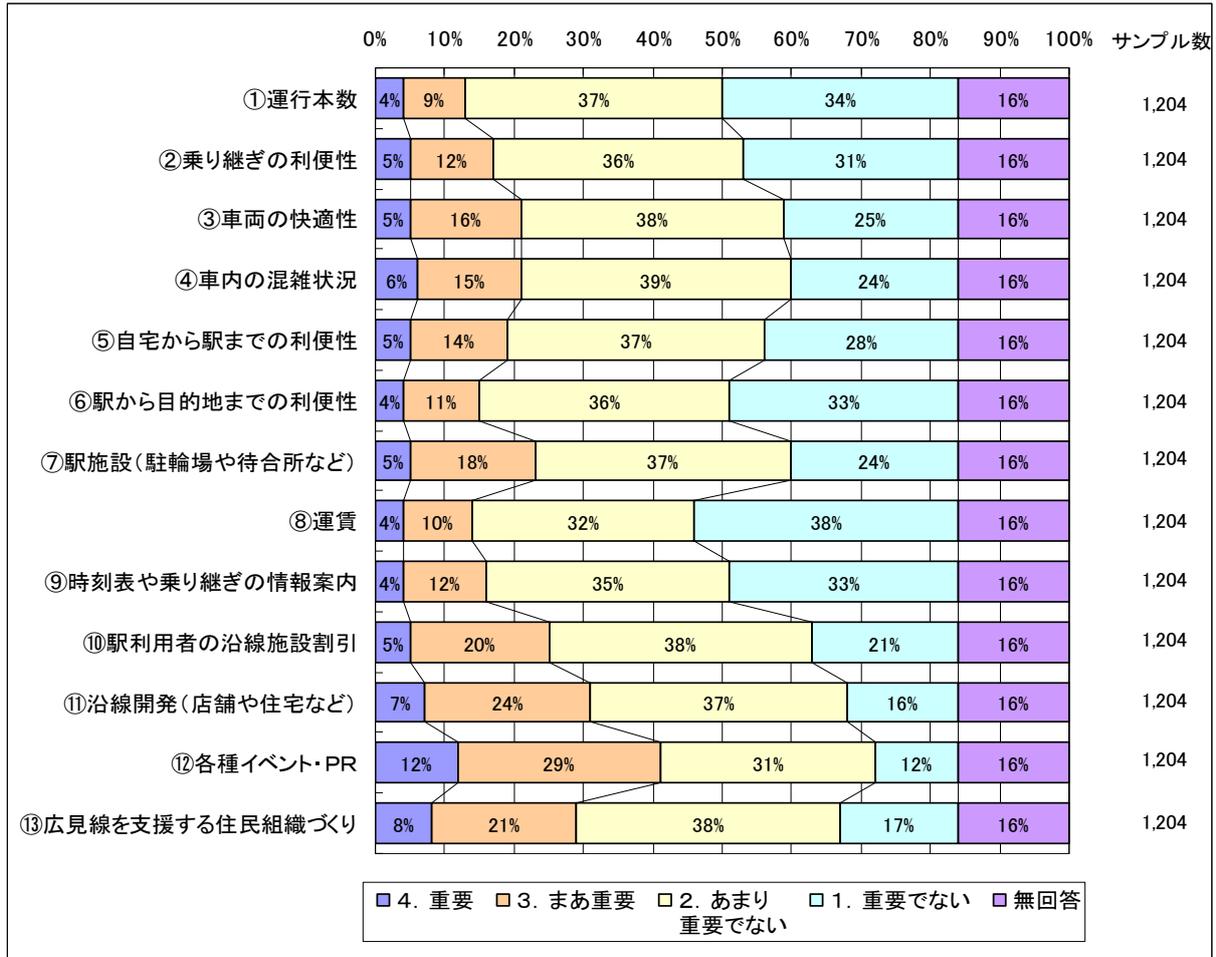
問 20 通学以外に広見線を利用する頻度 (n : 474)



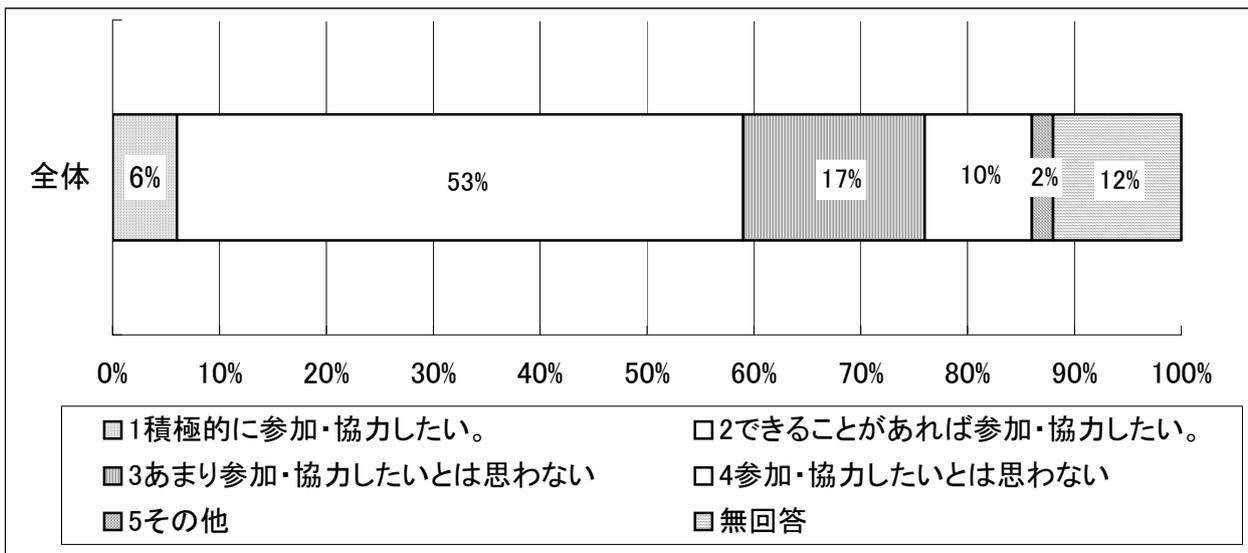
問 21 広見線が利用できなくなった場合の自身への影響 (n : 1,204)



□ 問 22 広見線利用促進に向けた重要度の程度 (n : 1,204)



□ 問 23 広見線利用促進に向けた取組みへ参加・協力 (n : 1,204)



■名鉄対策協議会 委員・団体の存続等への意見

存続の必要性

- ・ 高齢者、高校生などにとって大切である。
- ・ 東濃高校の存続が危ぶまれる。
- ・ 高校の選択の幅が狭くなる。
- ・ 廃線となると保護者への負担も大きくなる
- ・ 通勤・通学・一般利用を考えると存続させてほしい
- ・ 町の人口増加、活性化には欠かせない。
- ・ 車での移動が中心となり、人と人との交流が少なくなる。
- ・ 廃線となれば、人口流出につながり、町が崩壊する。
- ・ 他に大量輸送の手段が無い。
- ・ 朝夕など中心に、バスなどでは満足な輸送ができない。
- ・ 社会的便益から鉄道以外の代替手段が無い。

存続議論の留意点

- ・ 通学に不自由がないなら廃止でもやむを得ない。
- ・ 必ずしも存続ではなく、廃線によって困る人が何割なのか。
- ・ 鉄道からの代替措置は不便にならないこと。
- ・ きちんとした代替手段が整えられるか。
- ・ 可児市との合併も視野に。
- ・ 住民の声を聞き、行動をよく見る。
- ・ 1人1人がしっかりとした意見を持つこと。
- ・ 運行赤字への負担はどれくらいなのか。
- ・ 市町と名鉄の歩み寄り
- ・ 残るための条件を整理する。
- ・ 広域的に捉え、関係市町・国・県と連携し、土岐市方面への路線拡張を視野に。

存続への課題

- ・ 赤字をいかに減少させるか。
- ・ 名鉄から「存続の前提」を引き出すこと。
- ・ 議会と町執行部との一体化
- ・ いかに各界、各層の声を活かせるか。

具体的な取り組み

要望

- ・ 名鉄への請願、要望の提出
- ・ 存続議決、国等への陳情

住民への意識高揚

- ・ 老若男女が環境に左右されない運動
- ・ 住民への意識高揚
- ・ CO2削減意識運動
- ・ 機会を捉えて利用する意識啓発
- ・ 官民一体でパンフレット、TVなどのPR
- ・ 利用者への存続アンケート実施
- ・ 鉄道存廃に関わる不安を取り除くこと。
- ・ 防災行政無線での啓発

利用促進策

- ・ 誰もが利用できる環境づくり
- ・ 駅の駐車場、駐輪場、待合室の整備
- ・ 高校の卒業生も巻き込む
- ・ 可児駅周辺に駐車し新可児駅での乗車をやめて、明智駅から乗車すること。
- ・ 観光案内を充実させ、鉄道利用の来訪者を増やす。
- ・ 歩いて散策したり、自転車でまちを楽しむまちづくりを行い、電車での来訪者を増やす。
- ・ 職員、学校の先生などに電車通勤を呼びかける。
- ・ 体験無料切符の配布